

今日は、ベジ気分！

ベジタリアンと大豆は切っても切れない間柄。
少し、ベジで楽しい生活をのぞいてみませんか？



熱帯林火災

第6回日本ベジタリアンアワード「環境賞」を受賞した、ウータン・森と生活を考える会 事務局長の石崎雄一郎さんを、橋本晃一がご紹介いたします。



今月のベジーさん
～ウータン・森と生活を考える会 事務局長～
石崎 雄一郎 さん

●環境問題に関心を向けたきっかけ●

地球サミットが開催されていた子どもの頃、熱帯林破壊のニュースに恐怖を感じる。大学時代に海外ボランティアと出会い、その後引きこもり、ニート・フリーター・社会人を経てNGOと出会う。

●森林破壊の問題に取り組む●

ボルネオ島の村人が森林再生に取り組む姿に感銘を受け、在来種の苗づくり・植林やエコツアーなどを実施。熱帯林破壊を止めるため、開発で殺されたオランウータンの調査、インドネシア政治家への署名の手渡し、日本企業の株主総会で「パーム油発電反対アクション」などを行ってきた。また、熱帯林破壊とパーム油とのつながりを伝えるべく、市民団体や大学、ヴィーガンフェスティバルなどに招かれ、講演を行っている。

●そして、ヴィーガンの生活●

熱帯林破壊や気候変動と畜産がつながっている問題からヴィーガンの生活を始める。同時に環境問題を国家間差別・世代間差別・種差別に基づくものと位置付け、生物との関わり方の見直しを模索している。2020年には、大阪でVEGAN FOREST CAFEを立ち上げ、ヴィーガンクッキングやドキュメンタリー映画上映会、青年海外協力隊やNGOやバックパッカーとして世界各国で活躍する方のトークイベントを開催している。

●熱帯林を守る活動●

石崎雄一郎さんは、子どもの頃に森林破壊のニュースを観て関心を持ち、その後市民活動を熱心に行う日本やインドネシアの仲間達と出会い、東南アジアのボルネオ島の熱帯林を守るために活動されています。

高温多湿で降雨量の多い熱帯地域に広がる熱帯林には、多くの生きものの命を育む生態系が織り成されています。地球上の生物種の半数以上は熱帯林に生息しており、

100m²にいる昆虫の種類はヨーロッパ全土より多いとも言われています。

熱帯林は人間にとっても必要な生態系・種・遺伝子の多様性の維持に重要な「生物多様性の宝庫」です。世界の熱帯林はどんどん減少しており、ほとんどが人為的な理由によります。

●熱帯林破壊とパーム油●

東南アジアの熱帯林破壊の最大の原因は、「パーム油」を採るためのアブラヤシを生産するために



パーム油を使った商品

大規模なプランテーション（単一農園）への土地転換が行われていることです。1990年からの20

年間で九州ほどの面積の熱帯林が農園に転換されました。そのためにオランウータンやサイチョウなど希少な野生動物が絶滅の危機にあります。石崎さんが事務局長を務める、ウータン・森と生活を考える会では、苗づくり・植林、エコツアー、森林農法など大規模な開発に頼らない収入創出と熱帯林保全を現地の村人やNGOの仲間と目指しています。

●パーム油について●

石崎さんは、パーム油の問題の



エコツアーの様子

ボルネオ島

啓発活動をしてきた数年前から、関西で開催されている**ヴィーガン・フェスティバル**への講演依頼をされるようになりました。

動物性の食材を使用しないヴィーガンの中には、植物性の油としてパーム油を重宝している人がいますが、パーム油は、インスタント麺、スナック菓材、マーガリン、ショートニング、冷凍食品、外食の揚げ油、粉ミルク、洗剤、石鹸、化粧品など、身近な食品や日用品として消費されています。ですが、「植物油脂」として記載されているためにあまり知られていません。植物性の油として生産性が高く、加工しやすいなどの特性があるために重宝されていますが、**熱帯林破壊による野生動物の生息地の減少につながっている**ことを知らない方からはショックの声が聞かれるそうです。

●ヴィーガンの生活を始めたきっかけ●

石崎さんは、講演以来、徐々にヴィーガンの方々とのつながりが増え、2019年末に**熱帯林好きの仲間とコミュニティ・ルマ・ボルネオ**を大阪にオープンし、講演

会や映画上映会などを行ってこれ、翌年夏頃にルマ・ボルネオ内で、ボルネオ島で植林活動を行ってきた仲間と**VEGAN FOREST CAFE**を立ち上げ、ヴィーガンクッキングやヴィーガン勉強会などを開催してこられました。

南米アマゾンの熱帯林破壊の最大の原因は、肉用牛の放牧地の拡大による土地転換だと言われています。また、家畜の餌となる大豆などの穀物のための農地転用も大きな問題だとのこと。それにより土地を収奪される先住民もたくさんいます。また、飢餓状態にある人が世界に数億人いる一方で、穀物は家畜の餌となっておりそれらの人々に行き渡らないという不公平な現状もあります。

そのような問題意識があったため、VEGAN FOREST CAFEの立ち上げとともに、石

ウータン・森と生活を考える会

WEB : <http://hutangroup.org/>
 facebook : [hutangroup](https://www.facebook.com/hutangroup)
 twitter : [HUTANGroupJAPAN](https://twitter.com/HUTANGroupJAPAN)
 instagram : [hutangroup](https://www.instagram.com/hutangroup)

崎さん自身もヴィーガンになったそうです。

その後、多くのヴィーガンの方々と楽しみながら学ぶ場や交流する場を持ち、石崎さんの団体のアドバイザーが代表を務める有機農園のお手伝いをするなど、活動が広がっています。

熱帯林保全もヴィーガンも有機農業も、**可能な限り動物の搾取をしない、平等で他者を慈しむ持続可能な生き方や社会づくりをめざした営み**で、多くの親和性があります。仲間と楽しく、思いやりに満ちた時間を共有することでヴィーガンの輪が広がっています。

おいしいは、やさしい。

株式会社 みすずコーポレーション
 〒380-0928 長野市若里1606 TEL.026-226-1671(代) <https://www.misuzu-co.co.jp>

<協会事務局>
 〒532-0003
 大阪市淀川区
 宮原 1-19-23-1317
 ☎06-6868-9860
<http://www.jpvs.org>

認定NPO法人**日本ベジタリアン協会**
橋本 晃一(事務局長)
 日本ベジタリアン学会プレゼンテーション賞受賞
 大阪市立大学大学院修士・修士(都市政策)